

卒後支援について

本校では、卒業生が職場や福祉事業所で定着できることを目指し、進路・卒後支援振興会の支援の下、進路指導係が中心となり、卒業後も3年間をめぐり卒後支援を行っています。

本校在籍の全保護者・卒業三年までの保護者が加入している会で、在校中に年額10,000円（二年間）の会費を納入していただき、本校の進路指導や卒後支援に役立てています。本校の卒後支援は、進路指導係を中心に全校で行い、行事、訪問、相談、文書の4事業を行っています。

<おもな支援の内容>

通信（文書による支援）

定期的に卒業生、家庭（保護者）へ便りを送り、情報の提供、行事の案内等を行います。

- 1 卒業生へ年3回「グローバーだより」（同窓会「クローバーの会」の会報）を発行します。
- 2 家庭（保護者）へ年に2回「振興会だより」を発行します。行事の報告、卒後支援、福祉サービスについての情報提供等が主な内容です。

訪問（巡回による支援）

定期的に卒業生の進路先を訪問し、現況把握に努めます。また、卒業生、保護者、施設、職場等からの要請があれば、必要に応じて訪問し問題に対処します。

卒業三年は、年1～2回の訪問、その後は、相談があった場合必要に応じて訪問しています

行事（招集による支援）

同窓会行事、同窓会総会、同窓会入会式を企画し、卒業生を招集します。行事を通して生活領域の拡大と趣味、スポーツ等の余暇活動の充実を図ります。

相談（電話など相談による支援）

卒業生により身近で迅速な支援を行うために、電話等での相談、連絡調整、情報提供にも随時応じています。必要に応じて進路先、家庭、関係諸機関等を訪問し問題の対処に当たります。